

2023年8月11日～15日

長野県北部震災被災地(栄村)における 文化財保全活動(第85回)報告

[2023年9月10日版]



8月13日お昼過ぎの参加者の皆さん

地域史料保全有志の会

==== 目 次 ====

はじめに	2
1. 第85回活動の基本データ	2
■日程		
■参加者		
■活動内容		
2. 文献班の活動	3
■廣瀬博明家文書の整理と目録取り		
■震災後のレスキュー時に書かれた箱書きや荷札書きについての注意事項		
■今回の史料整理状況(目録採りなど)		
3. 今回の自炊ーワンコイン昼食！	6
4. 会計報告(大澤佳寿子・白水智)	7

はじめに

4年ぶりにコロナ以前のような大人数となった8月の保全活動が、無事に終了した。ご参加下さった皆さま、ご支援くださった皆さま、本当にありがとうございます。途中、台風が襲来する恐れもあり、日程短縮も考えたが、結果的には台風は大きく逸れ、影響はなく済んだ。近年恒例となった猛烈な暑さには襲われたものの、天候が崩れることもなく、作業は順調に捗った。

今回も栄村の皆さんからは野菜や果物、飲み物などの差し入れをたくさん頂戴したほか、参加者の方々からも手土産をいただくなど、いつもながら心温まる活動となった。

活動はすでに震災から12年目となっているが、今回も初参加の方が7名も見えたことはとてもありがたく、大いに励みになった。そしてコロナ前から変わらず参加して下さる常連メンバーの方々と両輪の力で、作業は滞りなく進められた。

今回は都合により文献班のみの活動であったが、継続している廣瀬博明家文書の目録採り作業を集中的に進めることができ、1枚に10件分書ける目録用紙で64枚分もの目録が一気に採れた。

以下今回の活動の詳細について記録を残しておきたいと思う。

1. 第85回活動の基本データ

■日 程：2023年8月11日(金)～15日(火)の5日間

■参加者：白水智・草山菜摘・寺島宏貴・高野宏峰・佐藤大介・松岡資明・関戸明子・小川知映・三浦悠乃・鈴木菜々恵・水落建哉・藤田明良・本間美麻・鈴木剛・博多芳明・荒井美智江・松本美虹・柴崎啓太

【差し入れ・支援等】吉楽旅館・苗場荘・上倉和美・島田豊実・石澤清人・関澤義人・その他たくさんの方の皆さん

■活動内容：

[8月10日(木)]

お盆帰省の交通渋滞が激しい予測になっていたため、一部メンバーは前夜の深夜0時までに栄村入りして活動に備えた。

※吉楽旅館泊

[8月11日(金)]

廣瀬博明家文書の目録採りとクリーニング。

※民宿苗場荘泊

[8月12日(土)]

午前中秋山郷を見学し、11時前にこらっせ着。昨日の続きの廣瀬博明文書のクリーニング。

※吉楽旅館泊

[8月13日(日)]

廣瀬博明家文書の収納整理と目録採り。昼にバーベキューを行った。

[8月14日(月)]

廣瀬博明家文書の目録採り。

※吉楽旅館泊

[8月15日(火)]

今回採取した廣瀬博明家文書目録の整理と片付けを行い、撤収。

2. 文献班の活動

■廣瀬博明家文書の整理と目録取り

冒頭にも記したように、今回は古文書目録用紙(1枚当たり10件記入できる)にして64枚分の目録採りをする事ができた。英字紙のまとめりや新聞小説の綴など、これまでなかなか手を着けられなかったものも整理に取り組んだ。



また、震災の際に土蔵の壁が倒れかかって破損し、中に土埃やゴミが混じった木箱の古文書(土蔵前室エ)をまとめてクリーニングすることもできた。埃やゴミの除去は好天時の日陰にブルーシートを敷いて、多人数で行えたので効率が良く、2日間をかけて終えることができた。今回のような人数の多い機会でないといけない作業だったため、大変助かった。この木箱の中には100点以上の横帳が入っていたが、その目録採りも同時に完了した。木箱は破損していたため、史料は「もんじょ箱」2箱に収納した。



■震災後のレスキュー時に書かれた箱書きや荷札書きについての注意事項

2011年の震災当年に廣瀬博明家土蔵からレスキューした史料は、箆筒や木箱等に入ったままのものや、ダンボール箱に移し替えて搬出したものが大半である。それらには、搬出前に荷札やダンボール箱の箱書きで史料の記号・番号が記入されている。

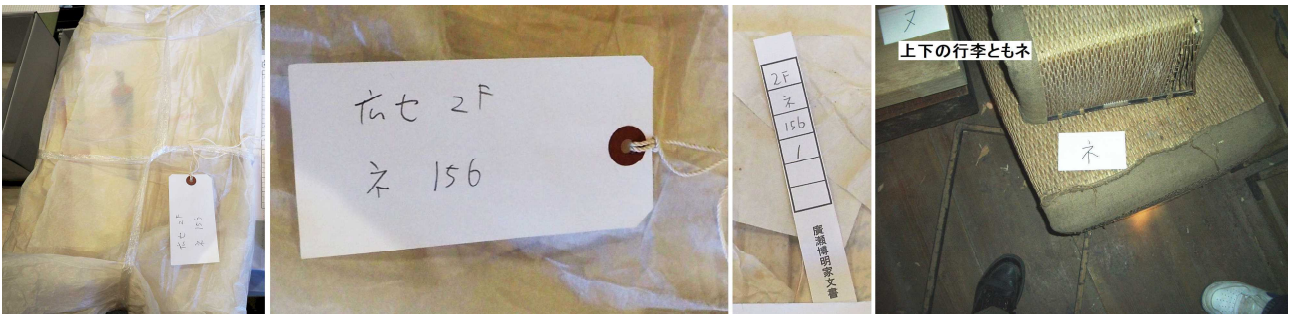
例えば今回整理したものでいえば、「広セ 2 F ネ 156」とか「テ 133」などの記載である。しかし、救出から時間が経っての整理にあたっては、これらの番号の意味がわかりづらくなり、本来の意味が忘れられて混乱を来すことが多い。「広セ 2 F ネ 156」は、廣瀬家土蔵の2階にあったものだという事はわかるが、「ネ 156」と書かれているために、この史料の束を整理する際には、これより前にネ 1～155があるように理解してしまい、取り出し順に「ネ 156-1」「ネ 156-2」…のように番号を付与してしまう。しかしこれは勘違いで、「ネ」＝「156」なのである。

少々わかりにくいので、以下、解説してみる。カタカナの記号は、震災より以前の2004年に初めて廣瀬家土蔵を調査した際、現状記録を取りながら史料のまとまりに付けた記号である。一方で「156」は、震災後のレスキュー搬出に先立って民具班が中心となって全物品(やそのまとまり)に付けた通し番号である。だから「ネ」＝「156」なのである。つまり、このまとまり内の1点ずつに番号を付与していくとすれば、「ネ-1」「ネ-2」…としていかなければならないことになる。「156」はあくまで搬出時用の一時的な便宜的番号であり、「ネ」の方が現状記録に基づいた正式の史料記号になるのである。

そうすると「テ-133」も同様で、うっかり「テ133-1」「テ133-2」と番号を付けてしまいそうになるが、こちらも本来の意味は「テ」＝「133」なので、番号は現状記録を確認して付与していかなければならない。「テ」は、2019年秋の整理の際に、別のまとまりが保存状況に基づいてすでに「テ-a・b」とされていた。なので、今回の分が「テ」のまとまりの一部ならば、「テ-c」とする必要がある。そこで、「テ-133」については「テ-c」として扱うことにし、「133」＝「テ-c-1」、「134」＝「テ-c-2」とすることにした。つまり「133」内の史料は「テ-c-1-1」から付番していくことになる。

これだけでも相当複雑なのであるが、さらに記号・番号の確認に際しては、もう一つ別の煩雑さもある。物によっては、2004年次のまとまりの捉え方と震災後のまとまりの把握が食い違っているものがあるのである。震災によって、積み上げられていたモノが床に崩れ落ちるなどして、2004年時のまとまりが崩れてわからなくなってしまった場合がある。その場合には、「カタカナ記号=数字」と単純に一致しないことになる。この時に頼りになるのが2004・2005年時に撮影してあった現状写真と現状記録のスケッチで、それらをもとに、目の前にある容器やまとまりがかつてのどの記号のものなのかを一つずつ確認していかなくてはならない。

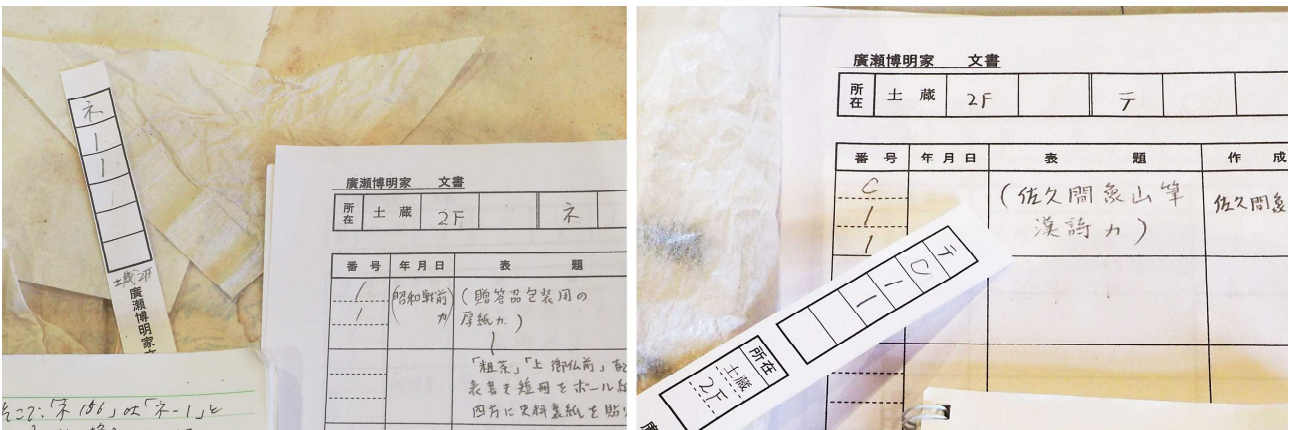
こうした確認作業は大変面倒であるし、2004年当時からの調査に関わっていなかった者には非常にわかりにくいものとなっている。ただ、「広セ 2F ネ 156」のように書かれた荷札を見て「ネ-156」のように誤解すると「ネ-1~155が見当たらない」など、今後の整理にあたって大きな混乱の原因になるので、今後も注意して作業をしていく必要がある。なお、2004年・2005年時の調査記録はこらっせの古文書収蔵室に常備してある。



荷札に従い、史料に挿入する短冊を当初「ネ156-1」として記入した。右は2004年当時の現状写真



同じく史料に挿入する短冊を当初「テ133-1」として記入した短冊。右は2004年当時の現状写真



上記の記号・番号を元の現状記録に依拠して修正し、短冊も目録もそれぞれ「ネ-1-1」「テ-c-1-1」と書き直した

■ 今回の史料整理状況(目録採りなど)

- 土蔵前室エ-①～③止(終了)
- 土蔵前室カ-1-1～34止
 - カ-2-1～31(途中)
 - カ-3-1～3-4(途中)
- 土蔵2Fア-1-1止
 - ア-2-1～2止
 - ア-3-8～69-11止
 - ア-4-1～5止
 - ア-5-1～13-6止
 - ア-6-1～40止
 - ア-7-1～22止
 - テ-c-1～2止
 - テ-d(番号短冊挿入のみ・目録未済)
 - ネ-1-1～3止

3. 今回の自炊ーワンコイン昼食！

今回も作業に参加して下さった皆さんには村の美味しいものをたくさん食べていただくという趣旨で、昼食には村の農家直売所で仕入れた食材や差し入れていただいた食材を使って自炊料理を作った。また参加者の希望で、8月13日には、隣町の津南町でブランド化されている特産の「津南ポーク」を主にしたバーベキューも行った。もちろん参加者の食費負担は、毎回100円のみ。ワンコイン昼食を継続した。食後や休憩時には、参加者の皆さんから差し入れていただいたお菓子やお茶で歓談し、交流を深めることもできた。村の皆さんに支えられ、参加者どうしの心遣いに支えられた活動である。





4. 会計報告 (大澤佳寿子・白水智)

今回の会計は前回報告書での報告分(5月末日まで)に続く6月1日～8月末日までの分を掲載している。なお、活動中の8月13日昼に行ったバーベキューは会の公式行事として実施したので、費用を会の会計から支出している。

[2023年6月1日～2023年8月31日までの支出]

< 宿泊・厚生関係 >

○ 宿泊費補助 (7名・19泊分)	57,000円
○ 入浴券 (回数券2綴他)	11,000円
○ バーベキュー食材・ガス代	14,300円

計	82,300円
---	---------

[2023年6月1日～2023年8月31日までの収入]

○ 貯金利息	6円
○ 寄付金 (ビール代残金繰り入れ)	2,000円

計	2,006円
---	--------

[残 額]	1,363,896円
-------	------------

※本報告書中、とくに執筆者の記載がない部分や撮影者注記のない写真は、白水が担当・提供した。